

ニュースレター



ごあいさつ



女性医師の会副会長
大石 麻利子

女性医師の会は兵庫県下の老若男女、研修医も勤務医も開業医も医師ならどなたでも入会でき、現在、約400名の方が会員になっておられます。医師としての資格を活かし、自己実現や社会貢献など、持てる力を十分に発揮できるように家庭や職場、そして社会

の環境を一緒に改善していきませんか。女性医師の会は兵庫県医師会の男女共同参画推進委員会を通し、応援してまいります。是非、ご入会を。そして様々な事情があってもエンジンを止めてしまわずに、パワーダウンをしてでも、少しずつ、前進して行きましょう。

女性医師の会入会案内

名称は「女性医師の会」ですが、男性医師の入会も歓迎致します。女性医師が働きやすい環境とは男性医師にとっても働きやすい環境でなくてはなりません。一緒に考えていきませんか。入会を希望される方は入会申込書を県医師会ホームページに掲載していますので、必要事項をご記入の上、FAX (078-231-8111) またはメール(w-entry@hyogo.med.or.jp)でご送信下さい。

★女性医師の会の年会費は無料になりました★

男性医師の分担

製鉄記念広畑病院整形外科・リウマチ科担当部長

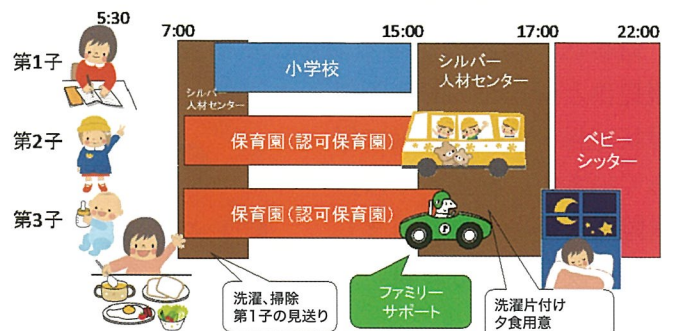
圓尾 明弘

女性医師がキャリアの中断を最小限にして復職す

るにはパートナーの協力が必須である。子供が小さいうちは、毎朝の家事と保育園の送り、夕方の迎えが時間的に業務を制約することとなる。また子供が急に病気になった時のバックアップ体制も問題となる。当家では市が運営するシルバー人材センターに朝と夕方に掃除、洗濯などの家事を依頼し、民間のベビーシッターに夕方の子供のピックアップと食事、風呂、就寝の介助を依頼していた。それ以外は私が朝食の準備、弁当作り、保育園の送迎を担当し、週末に一週間分の朝食と弁当の下準備をしておくことで、起床後朝食を



作って妻を送り出し、娘に弁当を持たせて、その後子供を保育園に送ってから出勤することが可能となっている。現実的には多くの男性医師に当てはめることは難しく、色々なサービスを利用しながら女性の職場復帰を実現することとなる。しかし自治体や地域によって利用できるサービスは異なり、時間に制限があるのが実状である。また利用できるサービスを探すのも一苦勞であり、金銭的な負担も少なくはない。時間外の業務が多い医師にとっては公的な支援だけでは仕事を継続することは難しく、今後は自治体、民間レベルで多様な支援サービスが増えることが望まれる。



講演会等での託児サービス

県医師会・郡市区医師会が主催の講演会等では、託児ルームの場所代やシッターの委託料を日本医師会に全額補助して頂けます。開催者は託児希望の有無をご確認の上、県医師会または郡市区医師会に申請して下さい。育児中の医師が十分に研修を継続できるよう、ご協力宜しくお願い致します。

女性医師支援窓口

出産・育児・介護・復職・転職・再研修・勤務環境・その他悩み事をお持ちでしたら、県医師会の先輩医師がご相談にのります。ご相談内容の情報は相談事業以外には使用せず、個人情報保護は厳守させていただきます。ホームページに案内と申込用紙を掲載していますので、お気軽にご相談下さい。

●相談受付

電話：078-231-4114 月曜日と火曜日
午前9：00～12：00

FAX：078-231-8111 随時受付

E-mail：josei-ishi@hyogo.med.or.jp 随時受付

面談：要予約

離・退職中の医師の再就業支援

離・退職されている医師で、復職を考えているがその前に再研修されたい方は、研修終了後は県内の医療機関に勤務して頂くことを条件に、80時間の病院研修を無料で受けて頂けます。

ベビーシッター費用の一部負担

子どもの急な発熱や時間外勤務でベビーシッターを利用された際は、その費用を一部負担致します。条件等詳しくは県医師会にお問合せ下さい。

病院訪問

研修医・勤務医が多数おられる病院を訪問し、情報提供と研修医・勤務医の現状把握・意見の収集に努めています。現在すでに14病院を訪問させて頂きました。今後ご協力お願い致します。



第11回女性医師の会研修会

平成30年1月27日兵庫県医師会館にて女性医師の会研修会を開催致しました。

「絶滅危惧種『女子校』の底力～主体的学び・チャレンジ精神・折れない心を育む神戸女学院中高部の教育～」の演題で神戸女学院中高部部長 林真理子先生にご講演頂きました。

私立女子中学校を受験される方は減少の一途であるが、その中で神戸女学院は「好奇心が強く、人間関係を大切にして人生を謳歌する元気な女性」を育て続けている。そこには建学の頃より受け継がれた、自由と自治の精神・リベラルアーツ教育・母語獲得のように自然に語学を習得するCrew Method教育・「愛神愛隣」の精神に基づくボランティア活動・豊かな情操を育成する美しい学舎など神戸女学院ならではの多くの魅力が影響している。また、女子校では女性が豊富なリーダー経験を得ることができ、同時に女性リーダーを容認し支えていく経験が得られるため、女性リーダーには女子校出身者が多い。そして、色々なことに主体的・積極的に挑戦し、上手いかわなくても打開策を自ら見つけていく、折れない強い心を育てることを目指している。

詳しくは県医師会報に掲載致しますのでご一読下さい。
(文責 相馬葉子)



兵庫県医師会男女共同参画推進委員会

渡辺 弥生	大江与喜子	大石麻利子	土屋さなえ
多田 梢	飯島 尋子	宮本由紀子	相馬 葉子
木村 智子	千谷 容子	村山 知行	若栄 徳彦
中村 陽子	横田 光	林崎 緑	乾 由明
大内佐智子	小林 成美		

担当役員

小高 正裕	渡辺 志伸	難波 光義	宮地 千尋
坂本 泰三	小野 一広		

〒651-8555

神戸市中央区磯上通6-1-11 兵庫県医師会内
電話 078-231-4114 FAX 078-231-8111